

第2回 中之島クロス グローバルスタートアップ創出・拠点化推進事業委託業務に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会の選定結果について
議事要旨

令和7年9月11日（木曜日）

1. 日時及び場所

令和7年9月11日（木曜日） 午前10時から午前11時45分
千里ライフサイエンスセンタービル 20階 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団会議室

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を実施。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点以上の提案者のうち最高得点の者を最優秀提案事業者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

- (1) NQ Global Startup Gateway 共同事業体
(MIRACLE SCIENCE INNOVATION 株式会社、メドテックアクチュエーター合同会社、アストラゼネカ株式会社、ケンブリッジコンサルタンツ株式会社、Deep Intelligent Pharma 株式会社、ALLOY THERAPEUTICS 株式会社)
- (2) アデコ株式会社

4. 議事要旨

- ・ 選定委員会は非公開とすることに決定
- ・ 審査方法及び審査基準の確認（総合評価点の平均が60点に満たない場合は選定しない旨を確認）
- ・ 企画提案部分について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施
- ・ その後、選定委員から15分間の質疑応答を実施
- ・ 審査の結果、「NQ Global Startup Gateway 共同事業体」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見（最優秀提案者）】

- 最優秀提案者は、Nakanoshima Qross に根付いた活動をしており、Nakanoshima Qross における各施策との整合性が期待できる。一方で、事業の進捗については KPI を設定したうえで、府もモニタリングしていく必要がある。
- 海外で成功している事業の良さを取り入れた独自のプログラムとなっており、評価できる。一方で、共同企業体構成員の有する能力やネットワークを十分に活用し、成果につなげるためには事務局およびプロジェクトマネジメントが所期の役割を果たす必要がある。
- Nakanoshima Qross に関連する事業実績が豊富であるとともに、外資系を含むライフサイエンス分野のベンチャーの知見がある事業者で構成されており、期待できる。事務局としてのコミットは府がしっかりと監督いただきたい。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
大阪大学共創機構 特任教授	坂田 恒昭	ライフサイエンス分野に関する知見に基づき、支援プログラム内容を中心として提案の実現性、実効性について審査していただくため。
近畿大学経営学部 教授 近畿大学経営イノベーション研究所 所長	文能 照之	創業・ベンチャー分野に精通しており、学識経験者の視点から事業者の企画案全般についてスタートアップのビジネス化等の観点を中心に審査していただくため。
弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士	堀内 聡	法律の諸問題に精通しており、コンプライアンス等業務遂行能力・体制を中心に審査していただくため。